

第4次 東村山市子ども読書活動推進計画

令和3年度～7年度
(2021年度～2025年度)



東村山市公式キャラクター ひがっしー

令和3年(2021年)3月
東村山市

はじめに

この度、市では「第 4 次東村山市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。この計画は、0 歳からおおむね 18 歳までの子どもを対象とした読書活動推進にあたっての総合的な計画です。

どのような時代においても、読書が子どものことばと心を豊かに育てる上で大切なものであることは変わりません。災害や感染症など様々な困難に向き合い、世界共通の課題を知り、多様な人々と認め合いながら生きていくことが求められるこの時代に、読書によって、他者を思いやる気持ち、考える力、情報を選び活用する力を身につけることがますます必要となります。東村山の子どもたち一人ひとりが、よりよい読書体験を重ねることができるよう、今後 5 年間、この計画をもとに真摯に取り組んでまいりたいと考えます。

当市では、第 1 次計画を策定した平成 17 年以降、市民の皆さまや関連機関の皆さまのご尽力により、市内の様々な場所で子どもへの読書活動が活発に行われ、「本と人の輪」が広がりました。また、この計画の策定にあたっては、たくさんの方からアンケート等を通して貴重なご意見をいただきました。改めまして感謝を申し上げますとともに、引き続き、皆さまのご理解とご協力をいただけますようどうぞよろしくお願いいたします。



お父さんと楽しむおはなし会
平成 28 年 11 月

令和 3 年 3 月

東村山市長 渡部 尚

目 次

第 1 章 計画について.....	4
1. 計画の目的.....	4
2. 計画の期間.....	4
3. 計画の考え方.....	4
4. 計画の位置づけ.....	7
第 2 章 第 3 次計画の成果と課題.....	8
1. これまでの計画の成果と課題.....	8
2. 第 3 次計画（平成 27 年度～令和 2 年度）の成果と課題.....	8
(1) 主な成果.....	8
(2) 主な課題.....	9
第 3 章 計画内容.....	11
1. 推進体制.....	12
(1) 行政内の体制.....	12
(2) 市内の関連施設との協力体制.....	13
(3) 市民参画・市民協働の体制.....	14
2. 乳幼児への取り組み.....	16
3. 市立小学校・中学校図書館の取り組み（重点事業）.....	20
4. 小学生への取り組み.....	23
5. 中学生への取り組み.....	25
6. 高校生等（おおむね 16～18 歳）への取り組み.....	27
7. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み（重点事業）.....	28
8. 東村山の特色を活かした取り組み.....	30
9. PR や啓発のための取り組み.....	33

資料 1	第 3 次計画（平成 27 年度～令和 2 年度）の主な実績	34
(1)	市民協働による事業.....	34
(2)	乳幼児向けおはなし会へのボランティア派遣状況.....	35
(3)	「おすすめ絵本パック」設置場所一覧	36
(4)	ボランティア養成のための講座	37
(5)	学校図書館活用事例一覧	38
(6)	子ども関連施設への図書特別貸出	40
(7)	子ども関連施設への図書の寄贈	40
(8)	学校図書館支援（市立図書館から）	41
(9)	学校図書館支援（教育委員会から）	42
(10)	障がいのあるお子さんへの布の絵本の提供状況.....	42
(11)	図書館関連団体の表彰・受賞実績一覧.....	43
資料 2	第 4 次計画策定のしくみ	44
資料 3	第 4 次計画策定体制	45
資料 4	第 4 次計画アンケートの結果について	46
資料 5	第 4 次計画案に対する意見募集(パブリックコメント)の概要について	50

第1章 計画について

1. 計画の目的

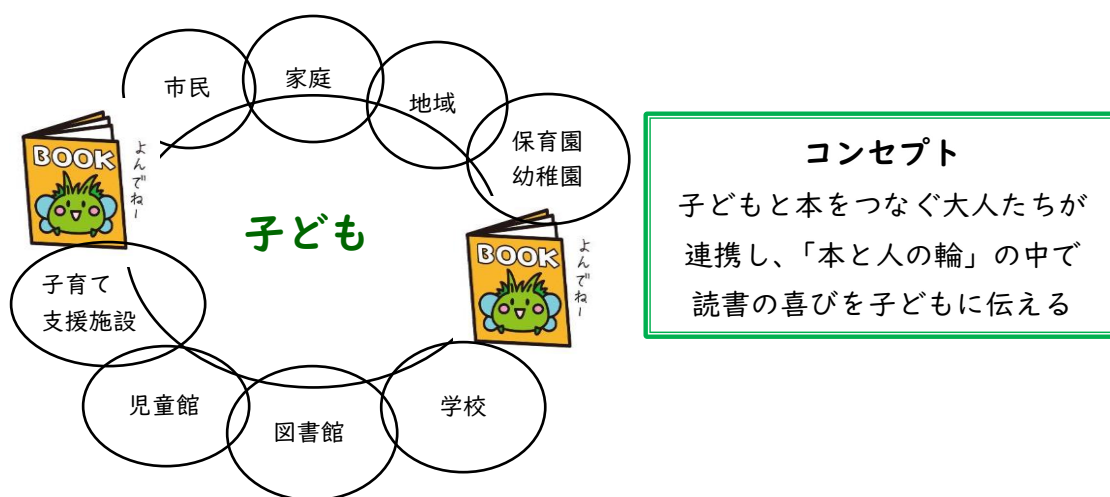
読書は子どものことばと心を育てます。子どもは読書活動を通して、ものごとを深く考え、様々な人の生き方を知り、意思や感情を伝え合うためのことばを身につけ、更には、必要な情報を選択して、適切に活用する能力を培うことができます。第4次東村山市子ども読書活動推進計画は、第1次計画、第2次計画、第3次計画同様、子ども（0歳～おおむね18歳まで）が自主的に読書に向かい合うことができるように配慮しながら、読書の楽しさ・大切さを伝え、本に出会うための環境を整えることにより、子どもがよりよく生きていく力を育てることを目的とします。

2. 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

3. 計画の考え方

- (1) 本計画は、第1次計画、第2次計画、第3次計画の理念や目的、基本的な取り組みを継承しつつ、第3次計画の課題を踏まえ今後5年間の方向を示したものです。
- (2) 市民の皆さんや関係機関、行政の各所管が連携してつくる「人の輪」と、市内のいろいろな場所で読み聞かせをしたり、本を活用し合う「本の輪」を合わせて、「本と人の輪」の中で子どもの読書を推進していくことを目指しています。



- (3) 「市立小学校・中学校図書館の取り組み」(20～22 ページ) と「読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み」(28・29 ページ) を重点事業に位置づけています。

(4) 平成 27 年 (2015 年) に国連サミットで^{エスディージーズ}S D G s (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) が採択され、世界共通の課題として 17 の目標を定め、2030 年のゴールを目指して各国で取り組むことになりました。本計画においても^{エスディージーズ}S D G s を目指して取り組んでいきます。

① 対応する主な^{エスディージーズ}S D G s は下記の通りです。



② 上記以外の^{エスディージーズ}S D G s についても、本や図書館利用を通して子どもたちに伝え、学ぶことができるように働きかけます。



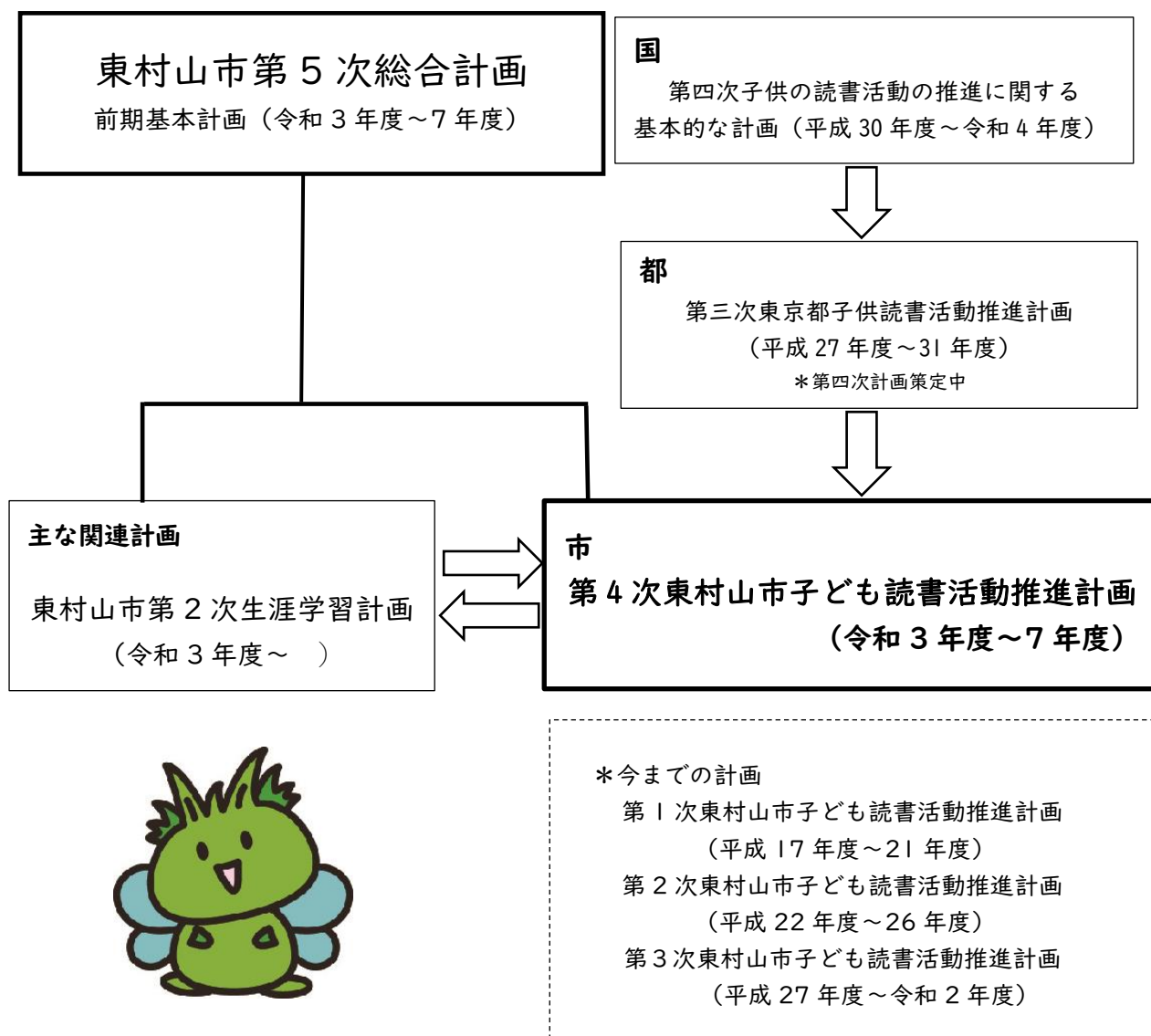
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、「密閉」「密集」「密接」をさけるなどの「新しい生活様式」が求められています。本計画の推進にあたっては、読書環境の整備や読書活動の方法等について、感染防止対策を工夫しながらすすめていきます。
- (6) 自然災害の発生等により、通常の読書環境が損なわれた場合にも、できる限り子どもが本に触れることができるように、本の提供方法を工夫して支援します。
- (7) 少子化、子育ての孤立化、ICT¹(Information and Communication Technology: 情報通信技術)の発達、外国人等の文化の違う人との相互理解の必要性、貧困による家庭環境の格差など、社会状況の変化に対応した取り組みができるようにつとめます。
- (8) 電子書籍²、マルチメディアデイジー図書(音声とともに文字や画像が表示されるデジタル図書で、特別な支援を必要とする子どもに有効)、インターネットを活用した研修・講習会・交流など、「新しい本の形」や読書の方法、情報共有の方法を研究しながら取り組みをすすめるようにつとめます。
- (9) いろいろな立場の皆さんに計画の趣旨を理解していただき、協力していただくために、表現や表記をなるべくわかりやすくするように心がけています。
- (10) わかりにくい語句については、原則としてページの下に説明をつけています。紙面の都合で数ページ後につけている場合もあります。
- (11) 文中の「本」ということばは、いわゆる「本」だけでなく、絵本、紙芝居、雑誌、新聞等を含む場合があります。
- (12) 元号については、2019年度は「令和元年度」、2020年度は「令和2年度」としています。第3次計画は、期間を平成27年度から平成32年度として策定しましたが、本計画上は、平成32年度を令和2年度と書き替えています。

¹ ICT: デジタル方式の技術や製品・サービスの総称。パソコン・スマホ・インターネットだけでなく、業務用の情報システム、デジタル家電、AI(人工知能)などを含む。

² 電子書籍: 書籍の内容を電子化し、コンピュータや専用の端末で読めるようにしたもの。

4. 計画の位置づけ

- (1) 本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月12日法律第154号)第9条第2項の規定に基づいて、東村山市における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取り組みの体系を示すものです。
- (2) 本計画は、国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(平成30年4月策定)及び東京都の「第三次東京都子供読書活動推進計画」(平成27年2月策定)を基本として策定しました。(※東京都は「第四次東京都子供読書活動推進計画」を策定予定)
- (3) 本計画は、「東村山市第5次総合計画」を上位計画とし、子どもの読書活動推進にあたっての総合的な計画として、「東村山市第2次生涯学習計画」などの関連計画との整合をはかりながらすすめていきます。



第2章 第3次計画の成果と課題

1. これまでの計画の成果と課題

第1次計画（平成17年度～21年度）

【主な成果】・子どもに関わる部署や施設との連携、市民との協働のしくみづくりをスタート

【主な課題】・「学校図書館への専門的な職員配置のあり方検討」等学校図書館の活用

第2次計画（平成22年度～26年度）

【主な成果】・「子どもと本の人材バンク」³の活用と人材育成のための講座や交流会等の実施

・「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」としての取り組みの拡大

・学校図書館専任司書⁴の全校配置（2校兼務、各校週2日）

【主な課題】・人材バンクの安定稼働のため、ボランティアの確保と活動の質の向上

・学校図書館専任司書配置の拡大による学校全体での更なる読書推進

2. 第3次計画（平成27年度～令和2年度）の成果と課題

（1）主な成果

- ① 市民協働による事業として、図書館関連団体と図書館との共催で「きいてみよう語ってみよう楽しいおはなし」「おなかの赤ちゃんとお楽しむマタニティ絵本タイム」「お父さんと楽しむおはなし会」「馬頭琴コンサートと読み聞かせ」「夏のこわ～いおはなし会」など多様なイベントを実施することができた。
- ② 市立図書館「子どもと本の人材バンク」からの団体派遣は、ふるさと歴史館の「囲炉裏端でのおはなし会」、ころころの森の「ジュニアサポーター講座」、市民相談・交流課の「多言語おはなし会」等にも広がり、多様なニーズに応えることができた。
- ③ 保育園など市内各所へのボランティア「図書館くまボラさん」⁵の派遣は、派遣先の施設との連携体制も整い、順調に実施できた。読み聞かせを受けた子ども

³ 「子どもの本の人材バンク」：市立図書館が仲立ちとなり、希望する保育園、子育て支援施設、学校等に読み聞かせボランティア等を派遣するシステム。平成16年度から開始。15ページに図あり。

⁴ 学校図書館専任司書：司書教諭と連携しながら、学校図書館の管理・運営や読書指導・授業活動を支援する職員。学校図書館法（平成26年に一部改正、平成27年施行）で「学校司書」という名称が明記された。「学校図書館専任司書」は当市独自の呼び方。

⁵ 「図書館くまボラさん」：市立図書館「子どもと本の人材バンク」に所属する個人登録の乳幼児への読み聞かせボランティア。図書館から派遣されて市内各所でおはなし会を行っている。おはなし会の導入に手袋人形のミトンくま（保育と人形の会 高田千鶴子氏考案）を使ってわらべうた「くまさん くまさん」をやっていることにちなんだ愛称。

は年間約 7,700 人（平成 27 年度から令和元年度の平均）で、第 4 次総合計画後期基本計画の基本目標に掲げた目標値を上回った。ボランティアは、適宜新規に募集し、第 3 次計画期間内に約 50 人の新規登録者があり、第 2 次計画期間よりも全体の登録者が増えた。結果、東村山版ブックスタート「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」への取り組みを更にすすめることができた。

- ④ 教育委員会関連部署の連携を更に深めて、学校図書館専任司書への支援を充実させた。平成 27 年度から毎年、学校図書館専任司書と学校図書館担当者（司書教諭⁶等）を対象とした研修を、外部講師を招いて実施し、学校図書館の理論と実務について学ぶことができた。また、市立図書館からは新たに訪問支援を行い、学校図書館内のレイアウト等整備の相談に応えた。
- ⑤ 特別教室への空調設備工事の一環で、学校図書館に空調設備を設置した。また、書架の修理・増設などにより、読書環境の整備を行った。
- ⑥ 市立図書館から学校への本の支援を更にすすめ、けやき教室⁷（特別支援教室）用の学級文庫用図書貸出や中学校の朝の読書用の本の寄贈を行った。
- ⑦ 学校では、学校図書館専任司書が子どもたちからの本選びや調べ学習の相談に応じたり、教員と連携して、授業の中で学校図書館を活用したりする場面が増えた。第 2 次計画期間よりも更に学校図書館活用がすすみ、各校で特色ある取り組みが実践できた。

＊第 3 次計画（平成 27 年度～令和 2 年度）の主な実績は、「資料 1」（34 ページ～43 ページ）に記載しています。

（2）主な課題

- ① 学校図書館の蔵書については、図書購入予算を増額することや、市立図書館の再利用図書や保護者等からの寄贈本を蔵書として活用することで、数を増やすようにつとめてきた。蔵書は数だけでなく、内容の充実も必要であることから、古い本を整備し、適切な廃棄も行ってきた。文部科学省が定めた「図書標準」

⁶ **司書教諭**：学校図書館の専門的職務をつかさどり、学校図書館を活用した教育活動の企画や校内での連絡調整を行う。学校図書館専任司書と連携して学校図書館の管理・運営を行う教員。学校図書館法では、12 学級以上の学校に「司書教諭」を置くこととしている。兼任であることが多い。

⁷ **けやき教室**：市内の各小学校に設置されている特別支援教室の名称。情緒障害等特別な支援を必要とする小学生に対し、学習や生活の困り感を改善または克服できるよう個々の状況に応じた指導を行う。中学校に設置されている特別支援教室の名称はアーチ。

（学級数に沿って定められた整備すべき蔵書数）に近づいているが、引き続き蔵書の数と質の両面が充実するように取り組みが求められる。

- ② 学校が学校図書館専任司書を授業等で活用しやすいように、各校の希望に合わせて学校図書館専任司書の配置時間を設定した。また、学校図書館専任司書が限られた時間の中で業務をしやすいように、市立図書館からの支援に力を入れてきた。しかし、絶対的な配置日数の不足は課題として残り、配置拡大に向けて引き続き検討することが求められる。
- ③ 学校図書館コンピュータシステムについては、手書きでの貸出・返却手続きや、本の検索ができない不便などを解消するために、導入を目指してきた。システム導入までのシミュレーションを行い、代表的なシステムの内容を研究するなど検討を重ねたが、実現に向けて更にすすめることが求められる。
- ④ 読書活動や図書館利用がしにくい子どものうち、外国につながる子ども（外国をルーツとする子どもや外国から帰国した子ども等）に対しては、市立図書館の蔵書の範囲で対応したが、一人ひとりのニーズが多様なことから子ども自身や関係者への更なる取り組みが求められる。
- ⑤ 障害のある子どもに対しては、特別支援学級⁸への支援や「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」⁹を実施したが、更に一人ひとりのニーズに合わせた取り組みや、デジタルツール等の新しい手法を用いた取り組みが求められる。

⁸ **特別支援学級**：児童・生徒の障害の状態や発達段階、特性等に応じて適切な教育環境を整え、その可能性を伸ばし、社会自立への基礎・基本を身につけるための教育を行う学級。固定学級（知的障害）・通級指導学級（言語障害）・特別支援教室（情緒障害等）がある。なお、令和3年度より萩山小学校、令和4年度より東村山第四中学校に固定学級（自閉症・情緒障害）が新たに開設される。

⁹ 「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」：布の絵本とは、障害のある子どもたちが楽しみながら手指の機能訓練ができるように工夫された「絵本」＋「遊具」。布の絵本を通しておはなしの世界に触れたり、親子でゆったり遊べるスペースを開放する催し。

第3章 計画内容

ひまなときも

がんばっているときも

しんどいときも

むずかしいことをしらべたいときも

らぶらぶのときも

やるきがでないときも

まじめにじんせいをかんがえたいときも

本は と・も・だ・ち



1. 推進体制

(1) 行政内の体制

① 子ども関連部署庁内連絡会（管理職）*下表●印

当計画の進捗状況を確認し、連携して取り組むことができるように協議します。

② 学校図書館推進部会（管理職）*下表◎印

市立小・中学校での読書推進や学校図書館の充実について協議します。

③ 子ども関連部署庁内担当者部会 *下表○印

担当者が具体的な取り組みの調整をします。

司書、指導主事、保育士、保健師、児童厚生員¹⁰等がそれぞれの専門的な観点から市内全体の子どもの読書の推進に向けた取り組みの方向性を協議します。

*事務局は図書館が行います。

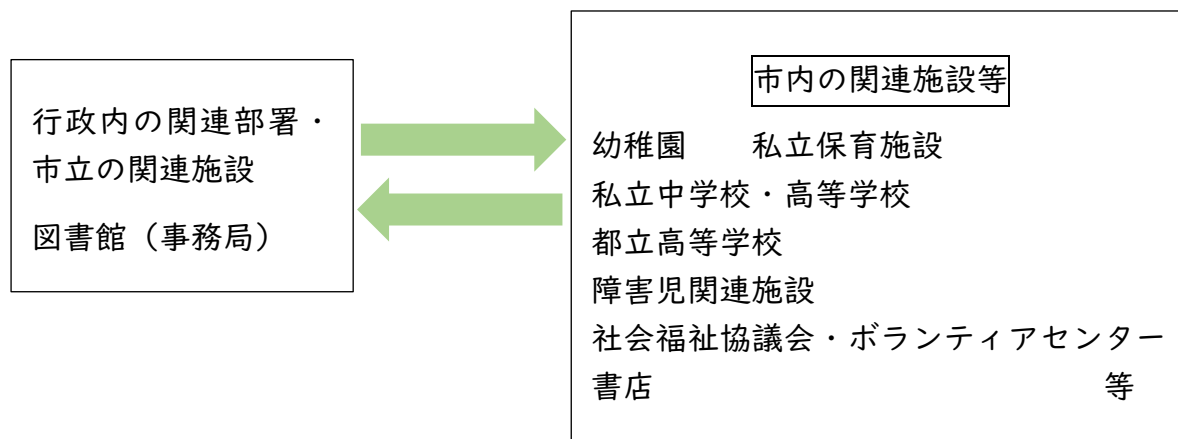
*部署名は令和3年度以降の名称・組織です。

*必要に応じて下記以外の部署とも連携していきます。

部	課	①	②	③	主な担当業務
教育部	教育政策課		◎	○	学校交換便 学校図書館コンピュータシステム導入
	学務課		◎	○	学校図書館図書購入関係、学校図書館の設備、メンテナンス、学校図書館コンピュータシステム導入
	指導課	●	◎	○	学校図書館専任司書配置 学校図書館専任司書及び司書教諭等への研修
	子ども・教育支援課		◎	○	特別支援学級、健全育成学習室 ¹¹
	図書館	●	◎	○	子どもの読書全般、計画事務局
子ども家庭部	子ども保健・給付課			○	乳幼児健診、乳幼児及び両親学級
	地域子育て課	●		○	市立保育園、子育てひろば ¹²
	児童課			○	児童館、児童クラブ・育成室 おひさま広場 ¹³
経営政策部	情報政策課		◎		学校図書館コンピュータシステム導入
市民部	市民相談・交流課	●		○	外国につながる子ども (外国をルーツとする子ども等)

(2) 市内の関連施設との協力体制

- ① 市内にある幼稚園、私立学校、都立高等学校等の関連施設に、この計画の趣旨を伝え、各施設において子どもの読書活動が推進されるように、理解と協力を求めています。
- ② 必要に応じて市内の関連施設を支援し、子どもの読書推進のための取り組みを連携して行うようつとめます。



¹⁰ **児童厚生員**：児童厚生施設（児童館・児童クラブ等）において、児童の健康増進や情操育成のために遊びの指導等を行う者。

¹¹ **健全育成学習室**：名称は希望学級。何らかの理由で登校の困難な児童・生徒に対し、学級復帰等に向け、教育的支援と指導を目的とした通級学級。大岱小学校内にある。

¹² **子育てひろば**：保育園や児童館等を利用して設けた乳幼児親子のための集いの場。子育てについての相談や講座などの支援も行う。東京都の施策のひとつとして各自治体で実施している。

¹³ **おひさま広場**：乳幼児親子への子育て支援として、市内8か所の児童クラブの施設を曜日と時間を定めて開放したもの。身近な遊び場、保護者同士の交流の場として利用されている。

(3) 市民参画・市民協働の体制

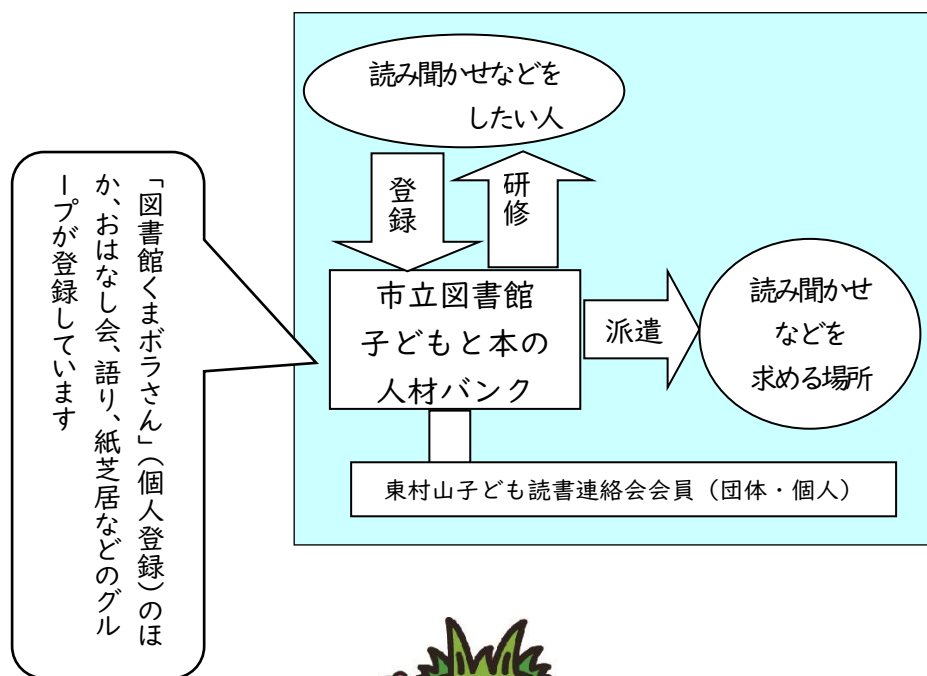
- ① 東村山市では、昭和 42 年に開館した地域文庫¹⁴「くめがわ電車図書館」¹⁵を始め、古くから市民による子どものための読書活動が盛んです。現在も多くの市民が、主に市立図書館関連団体や市立図書館「子どもと本の人材バンク」のボランティアとして活躍しています。また、学校においても保護者や地域のボランティアが、読み聞かせや学校図書館整備等で活躍しています。市民の主体的な活動が更に充実するように支援していきます。
- ② 行政と市民で、子どもの読書推進における目的や役割を互いに確認しながら、市民参画・協働による取り組みをすすめます。
- ③ 市立図書館と図書館関連団体との共催事業を、ボランティアの経験とスキルを活かして企画段階から事業実施まで協働して行うことで、子どもの読書推進とボランティア活動の充実をはかります。
- ④ 市立図書館「子どもと本の人材バンク」を活用して子どもの読書を充実させるために、ボランティアに対して研修や交流の機会を提供し、市民活動が安心してやりがいのあるものになるようにつとめます。また、新たなボランティア募集を行いながら、人材バンクの安定した運用をはかります。
- ⑤ 市立図書館では、子どもの読書に関連する市民が集まる「東村山子ども読書連絡会」¹⁶を定期的開催し、当計画に関わる事業報告、市民意見の聞き取り等を行い、図書館と市民、市民と市民のつながりを深めます。

¹⁴ **地域文庫**：集会所等の地域に開かれた場所に児童図書を備えつけて近隣の子どもたちに貸し出す市民活動。自宅を開放して活動する場合は家庭文庫。現在市内で活動している地域文庫はくめがわ電車図書館。

¹⁵ 「くめがわ電車図書館」：昭和 42 年市内美住町久米川公園内に西武鉄道の車体を利用し、子どものための地域文庫として開館。団地建て替えに伴い平成 13 年には 2 代目の車両で再開館（車両は都市基盤整備公団より市に寄贈）。本の貸出や読み聞かせを中心に、地域の子どもや子どもに関わる大人たちの読書活動を支える地域コミュニティとして幅広い活動を展開している。

¹⁶ 「東村山子ども読書連絡会」：市内で読み聞かせなど子どもの読書に関わる活動をするグループや個人の連絡会。年に 1 度、図書館からの情報提供、参加者相互の情報交換などを行っている。

市立図書館「子どもと本の人材バンク」のしくみ



2. 乳幼児への取り組み

乳幼児期の読み聞かせは、子どものことばを育て、感性を豊かにするために大切です。子どもは、絵本を通して読み手と触れ合ううちに、「本は楽しいもの」という気持ちが芽生えます。赤ちゃんにはことばのリズムや音のひびきのよい絵本から始め、幼児には良質の物語、昔話、科学絵本などをたっぷり読み聞かせることが、その後の読書の基礎づくりにつながります。乳幼児の親子や園児が、市内のいろいろな場所で絵本に出会い、読み聞かせを通して交流ができる「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりを更に推進していきます。

東村山版ブックスタート「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」

ブックスタートは、健診時などに赤ちゃんとその保護者に絵本などを手渡し、読み聞かせの大切さを伝える取り組みです。当市では、「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」をキャッチフレーズに、東村山版のブックスタート事業をすすめてきました。乳幼児の親子が訪れる場所に「おすすめ絵本パック」¹⁷を置くこと、「子どもと本の人材バンク」から「図書館くまボラさん」を派遣しておはなし会（通称「くまくまおはなし会」¹⁸）を行うこと、保育園等で絵本をたくさん取り入れることなどにより、引き続き乳幼児の読書活動を推進します。

おすすめ絵本パック



絵本 20 冊

設置

おひさま広場

子育てひろば

児童館

公民館保育室

乳幼児健診会場
ハローベビークラス¹⁹

小児科待合室

読み聞かせボランティア 「図書館くまボラさん」



派遣



図書館
「赤ちゃん絵本ひろば」²⁰

おひさま広場

子育てひろば

3～4 か月児健診
「もぐもぐ離乳食」²¹
「かみかみ幼児食」²²

子育て総合支援センター
ころころの森²³

地域のいろいろな
イベント

児童館

保育園

<市立図書館>

- ① 乳幼児向けの良質な絵本・児童書・紙芝居を収集し、来館者が選びやすいように絵本コーナー等を整備するとともに、ブックリストやおはなし会などで子どもや保護者に絵本の楽しさ・大切さを伝えます。
- ② 子ども関連施設に対しては、特別貸出で季節やテーマに沿った絵本や紙芝居を適切に提供することで読書活動を支援します。
- ③ 子ども関連施設への「おすすめ絵本パック」の設置とメンテナンス、再利用図書への寄贈、おすすめ本等の情報提供により、市内全体で絵本の整備がすすむように支援します。
- ④ 市立図書館「子どもと本の人材バンク」から乳幼児への読み聞かせボランティア「図書館くまボラさん」を3~4か月児健診、保育園、子育てひろば等に派遣して読み聞かせを行い、市民の力で絵本の楽しさを伝えます。(新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した方法を検討します。)
- ⑤ 東村山版ブックスタート「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりを推進するために中心的な役割を担い、市民や関連施設との連携を深めます。(前ページ参照)
- ⑥ インターネットを活用した絵本の交流サイトづくり、動画での図書館利用案内や読み聞かせの啓発など、時代を意識したツールや手法の効果的な導入について検討します。



おうちで読み聞かせ



乳幼児へのおすすめ本展示
市立図書館



お父さんと楽しむおはなし会
(実演はボランティアグループ
「東村山うちのこづち」)

<おひさま広場・ころころの森・子育てひろば・児童館>

- ① 親子が利用しやすいように乳幼児向けの絵本等を整備します。
- ② 親子向けのイベント等に絵本や紙芝居を取り入れます。
- ③ ホームページやお便り等で読み聞かせの楽しさ・大切さを伝えます。
- ④ 「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりの一環として、「おすすめ絵本パック」や「図書館くまボラさん」のおはなし会を活用し、乳幼児の読書推進をはかります。



<子ども保健・給付課>

- ① 乳幼児健診や各種学級場で、子どもの発達に沿った読み聞かせの大切さを伝えるとともに、ブックリスト等を配布し、乳幼児の保護者、祖父母、これから親になる人などへの啓発を行います。
- ② 「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりの一環として、「おすすめ絵本パック」や「図書館くまボラさん」によるおはなし会を活用し、乳幼児の読書推進をはかります。
- ③ 「ゆりかごキャラバン」²⁴や「市民健康のつどい」²⁵等の取り組みの中で、乳幼児の保護者に読み聞かせの大切さを伝えます。

<保育園>

- ① 園の蔵書の充実をはかります。
- ② 日常の保育の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、子どもたちに絵本の楽しさを伝えます。
- ③ 園の行事等に絵本や紙芝居を取り入れ、本の世界を身近に感じられるように工夫します。
- ④ ホームページやお便り等で保護者への啓発を行います。
- ⑤ 「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」づくりの一環として、「図書館くまボラさん」によるおはなし会を活用し、乳幼児の読書推進をはかります。

図書館くまボラさんから保育園へのプレゼント
わらべうたの「うっつけ人形」

～コロナでくまボラさんが行けなかった園の子どもたちに～



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育園に派遣して行くくまボラさんのおはなし会は中止しました。図書館では、くまボラさんの協力により「うっつけ人形」をたくさんつくり、保育園にプレゼントしました。

-
- ¹⁷ 「おすすめ絵本パック」：市立図書館が選んだ乳幼児向けの絵本20冊のセット。市内の子ども関連施設に専用の箱に入れて設置し、訪れた親子が自由に絵本を楽しめるようにしている。
- ¹⁸ 「くまくまおはなし会」：「図書館くまボラさん」が市内各所で行っているおはなし会の愛称。
- ¹⁹ ハローベビークラス：子ども保健・給付課で実施している母親学級、両親学級。母親と家族が妊娠中をすこやかに過ごし、安心して出産や子育てができるように学ぶ学級。
- ²⁰ 「赤ちゃん絵本ひろば」：中央図書館主催の0・1歳児とその保護者対象のおはなし会。読み聞かせボランティア「図書館くまボラさん」が派遣されている。月1回市民センター2階で実施。
- ²¹ 「もぐもぐ離乳食」：子ども保健・給付課が実施している乳児期の離乳食のすすめ方について学ぶ学級。
- ²² 「かみかみ幼児食」：子ども保健・給付課が実施している幼児期の食生活について学ぶ学級。
- ²³ こころの森：東村山市子育て総合支援センターの愛称。未就学の子ども（主に0～2歳）と保護者が集う出会いと交流の場。建物内に子育てひろばと東村山市ファミリー・サポート・センターがある。東村山市子どもNPOユニット運営。
- ²⁴ 「ゆりかごキャラバン」：子ども保健・給付課の母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が、市内施設を回り、妊娠中や子育てに関する疑問や悩みなどの相談に応じる事業。
- ²⁵ 「市民健康のつどい」：市民産業まつりと同時開催のイベント。東村山市市民健康のつどい実行委員会主催。

3. 市立小学校・中学校図書館の取り組み（重点事業）

小・中学生にとって一番身近な図書館は学校図書館です。学校図書館は、主体的な読書活動を支える「読書センター」、教育課程の展開に寄与する「学習センター」、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての役割があります。学習指導要領²⁶に則った探究型学習²⁷を行う上で欠かせない場所である学校図書館の機能を充実させ、利活用をすすめるために整備していきます。

<教育委員会>

① 段階的な学校図書館整備のイメージ



ステップ1 蔵書の充実（指標：「図書標準」*達成率）



ステップ2 学校図書館専任司書の配置拡大
（指標：授業での活用件数）

*「図書標準」：文部科学省が定めた学級数に沿って定められた整備すべき蔵書数



ステップ3 コンピュータシステム導入
（指標：貸出冊数）

ステップ1 蔵書の充実	適切な購入・寄贈本の受け入れ・廃棄をしながら、「図書標準」の蔵書数を満たし、それを維持するようにつとめます。	学務課 図書館
ステップ2 学校図書館専任 司書の配置拡大	学校図書館の管理・運営を行い、学校図書館活動を更に充実するために、学校図書館専任司書配置の拡大を推進します。	指導課 図書館
ステップ3 コンピュータ システム導入	蔵書の管理・貸出・返却・検索・予約等を効率的に行うため、コンピュータシステム導入に向けた取り組みをすすめます。	教育政策課 学務課 図書館

コンピュータシステムについて・・・

学校図書館にコンピュータを整備し、学校図書館の本の情報をデータベース化して貸出・返却・検索・予約等を効率的に行うシステムのことです。蔵書管理が容易になり、統計や本の発注等も便利になります。現在は貸出・返却の際は貸出カードに記入しているため、手続きに時間がかかること、学校図書館の蔵書の状況がすぐわからないことなどが課題となっています。

② 引き続き各課で連携して学校図書館を支援します。

事業名	担当課
学校図書館専任司書への研修	指導課・図書館
司書教諭等学校図書館担当教員への研修	指導課・図書館
学校図書館管理運営マニュアル『学校図書館の手引き』発行	図書館・学務課・指導課
学校図書館の設備に関する支援	学務課
市立図書館と学校及び学校間の配送便の充実	教育政策課・図書館
市立図書館司書と学校図書館専任司書（支援担当）による支援	図書館
市立図書館からの特別貸出	図書館

<学校>

【体制】

- ① 指導の重点に読書活動を位置づけ、「学習指導要領」「学校図書館全体計画」「学校図書館指導計画」等に沿って学校全体で読書活動推進をはかります。
- ② 司書教諭を中心に教員と学校図書館専任司書が連携して、学校での読書活動や図書館活用をすすめます。
- ③ 保護者や地域のボランティアと連携して、学校図書館の整備や読書活動の充実をはかります。



学校図書館専任司書が
おすすめ本を紹介

【整備】

- ① 多様な子どもに対応できるように蔵書の充実をはかります。特に支援の必要な子どもにも配慮した本を収集するようにつとめます。
- ② 「心の居場所」として落ち着いた空間を提供できるよう配慮します。
- ③ 学校図書館を活用しやすいようにレイアウトや書架サインを工夫します。

【PR・啓発】

- ① 「子ども読書の日」²⁸や読書週間などを活用し、読書の楽しさを伝えます。
- ② 学校便りや学校ホームページ等により、学校図書館や読書啓発について情報発信します。

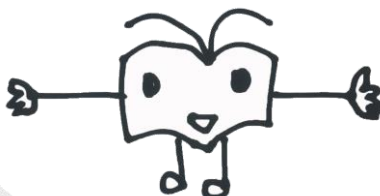
【指導】

- ① 絵本や紙芝居の読み聞かせ・ブックトーク²⁹・ビブリオバトル³⁰・学校図書館便りやブックリストの発行など様々な手法で読書への動機づけをはかります。
- ② 読むことが苦手な子どもや本に興味をもたない子どもが、本に親しめるように、紹介方法や提供方法を工夫します。
- ③ 本を読み解き、深く味わう体験を重ねることができるよう、読書感想や本の紹介を文章や絵などで表現する機会をつくるようにつとめます。
- ④ 分類のしくみ・本の探し方・調べ方を指導し、インターネット情報と併せて学校図書館を活用する力や情報を収集・活用する力を育てます。
- ⑤ 図書委員会等で子どもが主体的に読書や学校図書館に関わる機会を設けます。



化成小学校図書館
保護者ボランティア協力による飾りつけ

学校図書館キャラクター
「ブックン」
(イラスト やべみつのり氏)



東村山第七中学校図書館
展示「理系脳をそだてよう！」

²⁶ **学習指導要領**：文部科学省が小学校・中学校・高校ごとに定めている教育課程の基準。

²⁷ **探究型学習**：自ら課題を設定し、自ら学び自ら考える力を育てる学習。学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習法としてあげられている。

²⁸ **「子ども読書の日」**：国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられた日。「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日と定められている。

²⁹ **ブックトーク**：ひとつのテーマにしたがって、数冊の本を順序立てて紹介すること。

³⁰ **ビブリオバトル**：バトラー（発表者）がそれぞれおすすめの本を紹介し、バトラーと観客が一番読みたくなったチャンプ本を決めるゲーム。バトラーは自分のことばだけで本の魅力を伝えることがルールとなっている。

4. 小学生への取り組み

小学生になって文字が読めるようになって、すぐに一人で読書が楽しめるわけではありません。低学年の時期は、大人が読み聞かせをするなどして子どものペースに合わせながら本の世界に導くことが大切です。興味が多様になる中学年以降は、魅力的な本を紹介したり、自然に読書習慣がつくように身近に本のある環境を整えることが大切です。市立図書館、学校・学校図書館、地域等が連携して子どもたちが本に出会うための働きかけを行います。

<市立図書館>

- ① 多様な子どもが本に親しめるように、良質な本や紙芝居等を幅広く収集します。
- ② 本が探しやすく、手に取りやすくなるように館内のレイアウトや案内、本の見せ方を工夫します。
- ③ 子どもが安全に図書館を利用できるように配慮します。
- ④ 読み聞かせ・ブックトーク・ストーリーテリング³¹など、様々な手法で読書への動機づけをはかります。
- ⑤ ブックリストやホームページでの本の紹介、様々なテーマの本を中身を隠して包装した「お楽しみパック」の貸出等を通して、本選びの手助けをします。
- ⑥ 本を読み解き、深く味わう体験を重ねることができるよう、読書感想や本の紹介を文章や絵などで表現する機会をつくるようにつとめます。
- ⑦ 本で調べる力・図書館を活用する力を育てるために、調べるための本の充実をはかり、調べ方の案内を工夫します。
- ⑧ 教員や学校図書館専任司書からの相談に応じ、学級文庫用の本、国語科を始めたとする各教科や教科書の関連本、百科事典や「図鑑セット」³²等を貸し出し、学校での読書活動や調べ学習を支援します。
- ⑨ 中央図書館配置の学校図書館専任司書と連携して、各校の学校図書館専任司書の仕事を支援します。
- ⑩ 保護者や地域ボランティアによる小学校での読み聞かせを支援します。
- ⑪ 児童館、児童クラブ、地域文庫、小学校土曜講座³³、ふれあいセンター等様々な場所での本の整備や読書活動が充実するよう支援します。
- ⑫ インターネットを活用した動画での図書館利用案内など、時代を意識したツールや手法の効果的な導入について検討します。



³¹ ストーリーテリング：語り手が昔話などの物語を覚えて語ること。

³² 「図鑑セット」：小学校で図鑑の使い方について学ぶ授業をする際、二人1組で利用できるように、昆虫図鑑を20冊そろえてセット組みしたもの。必要に応じて市立図書館から特別貸出を行っている。

³³ 土曜講座：市内の小・中学校で、教養やスポーツなど様々なテーマで開講されている土曜開放事業。

<小学校>

＊市立小学校の取り組みは 21・22 ページをご覧ください。

<児童館>

- ① 児童館を訪れる子どもが気軽に本に親しめるように、図書室の本の充実につとめます。
- ② 図書室を居心地のよい読書スペースとして整備します。
- ③ 地域ボランティアを活用した読書活動を取り入れます。

<児童クラブ・育成室>

- ① 図書コーナーの本の充実や整備につとめます。
- ② 保育の中のいろいろな場面で、絵本や紙芝居を読み聞かせしたり、本を読む時間を設けたりして、本に触れる機会を増やすよう工夫します。



百科事典を引き、ワークシートを使って調べ方を学ぶ



調べるって楽しい



学年別夏休みおすすめ本コーナー
市立図書館



国語の教科書に載っている本のコーナー
市立図書館

5. 中学生への取り組み

中学生時代は家族や友だちとの関わりの中で悩んだり、自分の殻に閉じこもったりしながら、心と体が大きく成長していきます。大人が読んでほしい本よりも、友だちがすすめる本、メディアで話題に上がる本に興味を示す傾向があります。同世代で本を紹介し合う機会を設けたり、イラストや装丁が魅力的な様々なジャンルの本を揃えたりすることが読書へのきっかけづくりになります。市立図書館、学校・学校図書館等が連携して、中学生が多様な本に出会うための働きかけを行います。

<市立図書館>

- ① 本が苦手な中学生も親しめるような本から、知的好奇心を満たせるような本まで幅広く多様な本の充実をはかります。
- ② ティーンズコーナーを中学生の居場所として整え、本が探しやすく、手に取りやすくなるように、レイアウトや本の見せ方を工夫します。
- ③ 進路を選択する際の参考となるように、高校情報コーナーを整備します。
- ④ ブックリストやホームページでおすすめ本の紹介をし、本選びの手助けをします。
- ⑤ 本を読み解き、深く味わう体験を重ねることができるよう、読書感想や本の紹介を文章や絵などで表現する機会をつくるようにつとめます。
- ⑥ 本で調べる力・図書館を活用する力を育てるために、調べるための本の充実をはかり、調べ方の案内を工夫します。
- ⑦ レファレンスサービス³⁴の一環として、本やインターネットを活用して調べごとの手助けをします。また、中央図書館の参考資料室の利用を促すようPRにつとめます。
- ⑧ 中央図書館読書室の中学生優先席の利用を促すようPRにつとめます。
- ⑨ 教員や学校図書館専任司書からの相談に応じ、朝の読書用の本、教科書の関連本、百科事典等を貸し出し、学校での読書活動や調べ学習を支援します。
- ⑩ 中央図書館配置の学校図書館専任司書と連携して、各校の学校図書館専任司書の仕事を支援します。
- ⑪ 学生ボランティア³⁵や職場体験の受け入れを通して、図書館に親しむ機会を提供します。



³⁴ レファレンスサービス：何らかの情報を求める利用者の質問（参考質問）に対して、図書館員が回答の含まれる情報源などを提供するサービス。中央図書館には調べものに役立つ本を集めた「参考資料室」がある。

³⁵ 学生ボランティア：地域の学生（中学生以上）を対象として市立図書館が実施している「図書館学生ボランティア」事業。本の整理などを通して様々な本に親しみながら、居場所や社会経験の場として図書館を活用してもらうことを目的としている。

- ⑫ インターネットを活用した動画での図書館利用案内など、時代を意識したツールや手法の効果的な導入について検討します。

<中学校>

＊市立中学校の取り組みは 21・22 ページをご覧ください。

<児童館>

- ① 図書室に中学生向けの本を取り入れるようにつとめます。

★★ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応例 ★★



屋外で席を離して実施した児童クラブでのおはなし会
(実演はボランティアグループ「東村山うちのこづち」)



仕切りをつけたテーブル
市立図書館



滞在時間短縮のお願い
市立図書館

6. 高校生等（おおむね 16～18 歳）への取り組み

現代の高校生等若い人たちが、進路や生き方など、よりよく生きるためのヒントになるような様々な本と出会えるように、市立図書館が中心となって、高校生等の読書の充実につとめます。また、図書館を活用して課題の解決や生活に役立つ情報を得ることができるように、市立図書館の案内をすすめ、利用促進をはかります。

<市立図書館>

- ① ティーンズコーナー・一般コーナーの充実につとめ、若い世代の図書館利用を促進します。
- ② 学生生活や社会人生活を支援するために、レファレンスサービスの一環として、本やインターネットを活用して調べごとの手助けをします。また、中央図書館の読書室や参考資料室の利用を促すようPRにつとめます。
- ③ 学生ボランティアの受け入れを通して、図書館に親しむ機会や仕事体験の機会を提供します。
- ④ 市内の高校と連携をはかり、高校生への読書案内や図書館利用案内を行います。



<児童館>

- ① 図書室に高校生等向けの本を取り入れるようにつとめます。



ティーンズコーナー
市立図書館



インターネット用パソコン・参考資料室
市立図書館

7. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み (重点事業)

本を読むことや、図書館を利用することに特別な支援を必要とする子どもがいます。すべての子どもの読書推進をはかるためには、一人ひとりのニーズに合わせた支援が求められます。子どもや関係者に必要な支援が届くように、関連部署や施設、ボランティアと連携して取り組みます。

<市立図書館>

- ① 多様な子どもに対応できるように、大活字本³⁶、^{エルエル}ＬＬブック³⁷、布の絵本³⁸、外国語の本、日本語を学ぶための本などの図書館資料を幅広く収集します。また、リーディングトラッカー³⁹などの読書補助ツールの案内もすすめます。
- ② 視覚に障害のある子どもが読書に親しめるように、「障害者サービス」の一環として、点字図書・デージー版録音図書⁴⁰の貸出や、対面朗読⁴¹・音訳サービス⁴²などの案内を工夫します。
- ③ 特別支援学級に対して、学級文庫用図書や読み聞かせ用の本の特別貸出、おはなし会訪問等の支援を行います。また、健全育成学習室（希望学級）や障害児関連施設に特別貸出で本の支援をします。
- ④ 学校や保育園等に対して、外国語の本や日本語を学ぶための本の特別貸出を行い、子どもや教員等の関係者を支援します。



³⁶ **大活字本**：弱視者や高齢者のために、文字の大きさや行間を調整し、大きな活字で組み直した本。

³⁷ **ＬＬブック**：読むことが苦手な方のために、やさしく読めるようにつくられた本。

³⁸ **布の絵本**：障害のあるお子さんのために、布でつくられた「絵本」＋「遊具」。次ページに写真あり。

³⁹ **リーディングトラッカー**：視覚障害者や集中して読書をしたい方のための補助具で、読みたい行だけに視点を当てられるもの。次ページに写真あり。

⁴⁰ **デージー版録音図書**：活字による読書が困難な方のために作られたデジタル録音図書（ＣＤ）。

⁴¹ **対面朗読**：図書館の本などを、音訳ボランティアが対面で読むサービス。

⁴² **音訳サービス**：音訳されている本や資料がない時に、音訳ボランティアがそれを音訳し、デージー版録音図書にするサービス。

<市立図書館・学校・保育園・児童クラブ等>

- ① 発達障害等により本への集中が難しい子どもが読書を楽しめるように、補助ツールや読み聞かせの方法、本の選び方を研究し、活用できるよう支援します。
- ② 電子書籍、マルチメディアデージー図書（音声とともに文字や画像が表示されるデジタル図書で、特別な支援を必要とする子どもに有効）等について研究し、活用の可能性を検討します。
- ③ 外国につながる子ども（外国をルーツとする子どもや外国から帰国した子ども等）が、母語や日本語で読書に親しめるように支援します。また、市立図書館の利用を案内します。
- ④ 貧困による家庭環境の格差等により、本に触れる機会の少ない子どもに対して読書の楽しさを伝え、図書館利用をすすめます。

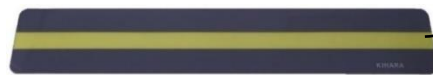


布の絵本「あかずきん」
登場人物をついたりはずしたりしながら、お話を楽しむことができる



市立図書館外国語資料コーナー
英語、中国語、韓国・朝鮮語の絵本も
あります

人々が健やかに暮らしていくためには、母子保健、子育て支援
地域福祉とは、「子ども、高齢者、障害のある人」を含めた、
自身だけではなく、住民同士が認めあい、互いの立場を尊重
とは、地域における参画の推進や、人権の尊重につながっていき
子どもの頃から、支えあいの気持ちを育むことのできる環境づ
れぞれの世代は共に学びあっていくことが大切です。
私たちは、東村山市という自然環境に恵まれた都市の中で、
のつながりを大切にし、住民活動計画である「地域福祉活動計画
互いに支えあっている活動も展開していきます。これらのこ
にあたっては、次のような地域社会像を基本理念とします。



リーディングトラッカー

定規のような形で、読みたい行に集中できるように
当てて使います。市立図書館や学校図書館に用意し
てあります

8. 東村山の特色を活かした取り組み

東村山について知り、親しみを感じることができるよう、市立図書館や学校、保育園等で東村山の資源や特徴を活かした取り組みを行います。



(1) 地域資料

- ① 市立図書館や学校図書館で、東村山についての本を収集・保存・提供します。
- ② 市立図書館では、子ども向けのリーフレット「東村山ものしりシート」を作成し、東村山についての情報を発信します。

(2) 東村山市「いのちの教育」推進プラン⁴³・「いのちとこころの人権の森宣言」⁴⁴

- ① 「いのちとこころの教育週間」⁴⁵に、いのちの大切さを伝える本の紹介や展示を行います。
- ② 紙芝居サークル「原っぱ」⁴⁶による「いのち・生きる・平和」をテーマとした紙芝居の上演を行います。
- ③ 「いのちとこころの人権の森宣言」の趣旨を踏まえ、市立図書館の「ハンセン病を知る」コーナーを整備し、子どもが本を通してハンセン病についての理解を深め、人権意識を高めることができるようにつとめます。
- ④ 市立小・中学校図書館では、「いのちとこころの本」コーナーを整備し、人権教育に活用するとともに、「のりこおかあさんの本だな」を設置し、子どもの読書活動推進に役立てます。
- ⑤ 保育フェスタ⁴⁷等の機会を通して、幼児向けの人権絵本を紹介します。

⁴³ 東村山市「いのちの教育」推進プラン：東村山市「いのちの教育」推進プラン策定協議会の報告書（平成 14 年）を踏まえ次代を担う子どもたちが「いのちの大切さ」「人を思いやるこころ」を培うために実施している事業。

⁴⁴ 「いのちとこころの人権の森宣言」：平成 21 年に 100 周年を迎えた国立療養所多磨全生園（ハンセン病療養者のための施設）の豊かな緑と人権の歴史を長く後世に伝えるため、東村山市が行った宣言。

⁴⁵ 「いのちとこころの教育週間」：東村山市「いのちの教育」推進プランを受けて、「いのちの大切さ」や「人を思いやるこころ」を培うために定められた教育週間（2 月 1 日から 7 日までの 1 週間）

⁴⁶ 紙芝居サークル「原っぱ」：平成 15 年に市立図書館主催で開催された紙芝居の講座がきっかけとなり平成 16 年に誕生したサークル。主に市立小・中学校を中心にいのちの大切さや人権をテーマにした紙芝居を上演している。

⁴⁷ 保育フェスタ：市内の保育施設を中心に各施設の子育て支援事業等を紹介するイベント。園児におすすめの絵本等を展示している。毎回、人権の絵本を紹介するコーナーを設けている。

(3) 紙芝居

- ① 市立図書館では、紙芝居の収集・保存・貸出をし、紙芝居サークル「原っぱ」等による上演を通して日本独自の文化である紙芝居の魅力を発信します。
- ② 紙芝居作家として評価の高いやべみつのり氏⁴⁸（市内在住）の作品を収集し、紹介します。



紙芝居サークル「原っぱ」（左）
やべみつのり氏（右）

(4) くめがわ電車図書館（地域文庫）

- ① 子どものための地域文庫「くめがわ電車図書館」の活動が安定して続くように支援し、その活動の歴史や魅力を広く市民に伝えます。



子どもから大人まで大人気の
電車図書館

美住町のグリーントウン美住一番街にある地域文庫。市立図書館ができる前から、子どもの読書を支えるために地域の人たちによって運営されている。西武鉄道の電車 1 両の中に、約 5,000 冊の本を置いている。映画「あん」（河瀬直美監督）や、「シン・エヴァンゲリオン劇場版:||」（庵野秀明監督）のロケーションに協力したほか、テレビ番組や雑誌で取り上げられることも増えている。



⁴⁸ やべみつのり氏：市内在住の絵本・紙芝居作家。作品は『かばさん』（こぐま社）など多数。平成 8 年第 34 回五山賞奨励賞受賞。過去には地域文庫「多摩湖町児童図書館」（活動終了）にも関わる。現在は創作のかたわら、紙芝居づくりのワークショップ等の講師としても活躍。また、市立小・中学校図書館のキャラクター「ブックン」のイラストを作成・提供。息子であり、芸人・マンガ家の矢部太郎氏による「ぼくのお父さん」は「小説新潮」で連載中。

★★ いのちとこころの教育、人権教育の取り組み例 ★★



いのちとこころの教育週間の展示
市立図書館



「ハンセン病を知る本」コーナー
市立図書館



各校にある「いのちとこころの本」コーナー
青葉小学校図書館

平成 17 年、当時の多磨全生園の入所者自治会長平沢保治さんが長年のハンセン病理理解への活動を評価され、第 39 回吉川英治文化賞を受賞。賞金を子どもたちの教育のためにご寄付いただいた。市では、人権教育に役立てることを目的に、市立小・中学校図書館内に「いのちとこころの本」コーナーを設置し、関連図書を整備している。



『のりこおかあさん』

平沢保治さんの奥様の範子さんについて書かれた本。多磨全生園でのくらしや、範子さんの願いが描かれている。英訳つき。

<當摩彰子/文 正木志門(東村山第一中学校)/表紙絵 當摩理佐子/英訳 東村山夢と希望プロジェクト発行>

『のりこおかあさんの本だな』

令和元年 11 月に、多磨全生園入所者で平沢保治さんの奥様である範子さんから市立小・中学校図書館の図書購入に役立ててほしいとご寄付をいただいた。令和 2 年 2 月にご逝去された範子さんの遺志に沿って、「いのちとこころの本」コーナーの近くに「のりこおかあさんの本だな」を設置し、本を購入して活用する予定。

9. P Rや啓発のための取り組み

一人でも多くの市民や子どもに関わる人に、様々な機会をとらえて子どもの読書の大切さを伝え、理解を深めることができるようにつとめます。子どもの読書に関わる施設は、その利用方法や取り組みのP Rを充分行うとともに、市内のいろいろな場所で実施している読み聞かせ等の活動についても効果的な方法で知らせていきます。

<市立図書館>

- ① 市民や関連施設等にこの計画の目的や内容について伝えていきます。
- ② 計画のすすみ具合についてホームページや広報紙『きょういく東村山』等で報告します。
- ③ 「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」の取り組みについて、リーフレットやホームページ等で広くP Rします。
- ④ 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組みについて、関連する人に必要な情報が届くように、リーフレットやホームページ等で案内します。
- ⑤ 「子ども読書の日」を通して読書の大切さを啓発します。
- ⑥ ホームページやフェイスブック等を通して、図書館のイベントや利用方法をP Rします。
- ⑦ インターネットを活用した絵本の交流サイトづくりや、動画での図書館利用案内など新しいP R方法について検討します。

<保育園・おひさま広場・子育てひろば・児童館・学校・学校図書館等>

- ① ホームページやお便り等を通して、各施設での子どもの読書活動に関する取り組みをP Rし、読書の大切さについての啓発につとめます。
- ② 「子ども読書の日」を通して読書の大切さを啓発します。



資料Ⅰ 第3次計画（平成27年度～令和2年度）の主な実績

（Ⅰ）市民協働による事業

① 市立図書館と図書館関連団体の主な共催事業

年度	イベント名	共催の団体名	人数
平成28	きいてみよう語ってみよう楽しいおはなし	おはなしグループ「トックのかご」 講師：蛸谷系美氏	29
平成27	夏のこわ～いおはなし会	がらくた文庫	33
平成28			40
平成29			37
平成30			38
令和元			28
平成27	冬のおはなし会	がらくた文庫	40
平成28			36
平成29			49
平成30			28
令和元			33
平成27	わくわく子ども読書まつり おはなし会（秋津図書館）	おはなし宅配便ポポ	12
平成28			8
平成29			17
令和30			42
令和元			33
平成27	おなかの赤ちゃんを楽しむ マタニティ絵本タイム	東村山うちでのこづち	8
平成28			8
平成29			1
平成30			7
平成29	みんな大好き！電車図書館（50周年記念）	くめがわ電車図書館	504
平成29	お父さんと楽しむおはなし会 （平成28年度は東村山うちでのこづち主催で実施）	東村山うちでのこづち	62
平成30			112
令和元			74
令和元	馬頭琴コンサートと読み聞かせ	おはなし宅配便ポポ 演奏：堀川万泰氏	104
令和元	富士見図書館開館40周年 お楽しみ人形劇とことばあそび	富士見図書館友の会 東村山音訳の会	59

② 市立図書館「子どもと本の人材バンク」からの団体派遣の状況

年度	イベント名・内容等	派遣先	派遣した団体名
平成27	ブックトーク	久米川小学校	おはなしグループ「トックのかご」
平成27	保護者会主催おはなし会	幼児教室すずめ	おくのなかみち
平成27	はるまちなまつりのおはなし会	NPOすずめ	おくのなかみち
平成27	市民健康のつどい	子育て支援課	富士見図書館友の会
平成27～29	ジュニアサポーター講座	ころころの森	紙芝居サークル「原っぱ」
平成27～30	おはなし会	ころころの森	おくのなかみち
平成27～30	囲炉裏端でのおはなし会	ふるさと歴史館	おはなしグループ「トックのかご」
平成27～令和2	朝の読み聞かせ（全クラス）	秋津東小学校	おはなし宅配便ポポ
平成28	キッズおしごと体験おはなし会	イオンモール武蔵村山	東村山うちでのこづち
平成28	まちジャム	ころころの森	おくのなかみち
平成28～29	おはなし会	萩山児童クラブ	おくのなかみち
平成29	紙芝居の演じ方研修	東萩山児童クラブ	紙芝居サークル「原っぱ」
平成29	みんな大好き！電車図書館 （50周年記念）	中央公民館	紙芝居サークル「原っぱ」、東村山 うちでのこづち、がらくた文庫
平成30	多言語おはなし会	市民相談・交流課	おはなし宅配便ポポ
令和元	市民文化祭でのおはなし会	萩山公民館	がらくた文庫

(2) 乳幼児向けおはなし会へのボランティア派遣状況

＊市立図書館「子どもと本の人材バンク」登録の乳幼児への読み聞かせボランティア
「図書館くまボラさん」派遣によるおはなし会

① 派遣か所数・回数・ボランティア人数・子どもの人数

(回数は日数でカウント：1回の訪問でクラスごとに複数回実施する場合も1回とする)

年度	派遣か所数	派遣回数	ボランティア人数 (延べ)	子どもの人数
平成 27	42	324	941	8,136
平成 28	41	340	956	7,904
平成 29	41	336	1,006	7,611
平成 30	45	356	1,225	8,064
令和元	42	306	952	7,046
令和 2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣中止			

＊令和元年度は令和 2 年 1 月までの数字 (令和 2 年 2 月・3 月は派遣中止)

② 派遣場所一覧 (平成 27 年度～令和元年度に派遣した場所。定期のほか単発も含む)

3～4か月児健診
もぐもぐ離乳食 (旧乳児学級)
かみかみ幼児食 (旧幼児学級)
市民健康のつどい
赤ちゃん絵本ひろば
本町児童館
栄町児童館
富士見児童館
秋津東おひさま広場
青葉おひさま広場
野火止おひさま広場
萩山おひさま広場
回田おひさま広場
南台おひさま広場
久米川おひさま広場
久米川東おひさま広場
のぐちちょう子育てひろば
みすみ子育てひろば
ほんちょう子育てひろば
ほほえみ子育てひろば
ころころの森
ころころおもちゃ箱あきつ

市立第一保育園～第七保育園
天王森保育園
久米川保育園
花さき保育園
わくわく保育園
ほんちょう保育園
ソラスト東村山保育園
あいあい保育園
こひつじ保育園
ニチキッズ東村山保育園
ロンドなないろ保育園
布の絵本プレイルーム (中央図書館)
布の絵本プレイルーム (ころころの森)
布の絵本プレイルーム (秋津図書館)
萩山親子のひろばどんぐり
青葉・秋津子育てまつり
ライオンズマンション美彩の杜
幼児教室すずめ保護者会
花さき保育園保護者会
くめがわ電車図書館
つむじ

計 49 か所

(3) 「おすすめ絵本パック」設置場所一覧

＊乳幼児向けの基本的な絵本 20 冊を箱に入れて設置

＊窓口用（1 セット 5 冊）は除く

＊所管名は令和 2 年度の名称

場所	用途	所管
子ども家庭支援センター	地域活動室で子育てサークル等の活動時に使用	子ども家庭支援センター
乳幼児健診待合ロビー	健診・学級等での待合用	子ども保健・給付課
1 歳 6 か月児健診	健診時の親子用	子ども保健・給付課
3 歳児健診	健診時の親子用	子ども保健・給付課
ハローベビークラス	ハローベビークラス用 (母親学級・両親学級)	子ども保健・給付課
富士見児童館幼児コーナー	乳幼児親子用	富士見児童館
秋津東おひさま広場	乳幼児親子用	秋津東児童クラブ
青葉おひさま広場	乳幼児親子用	青葉児童クラブ
野火止おひさま広場	乳幼児親子用	野火止児童クラブ
回田おひさま広場	乳幼児親子用	回田児童クラブ
久米川おひさま広場	乳幼児親子用	久米川児童クラブ
久米川東おひさま広場	乳幼児親子用	久米川東児童クラブ
のぐちちょう子育てひろば	乳幼児親子用	のぐちちょう子育てひろば
みすみ子育てひろば	乳幼児親子用	みすみ子育てひろば
ほんちょう子育てひろば	乳幼児親子用	ほんちょう子育てひろば
ほほえみ子育てひろば	乳幼児親子用	ほほえみ子育てひろば
多文化共生・男女共同参画 推進交流室	講座保育および相談時用	市民相談・交流課
中央公民館保育室	講座保育および子育てサークル 活動用	中央公民館
多摩北部医療センター 小児科	待合ロビー、病棟での親子用	多摩北部医療センター

(4) ボランティア養成のための講座

*市立図書館主催の講座

平成 27 年度

開催日	講座名	講師	人数
6 月 16 日	乳幼児の発達と絵本	子育て支援課保健師・図書館司書・読み聞かせボランティア	30
7 月 3 日	本の修理	東村山製本研究会・図書館司書	20
7 月 10 日	小学生への読み聞かせ	対馬初音氏	42
9 月 28 日	乳幼児のおはなし会の工夫	図書館司書・「図書館くまぼうさん」	29
10 月 2 日	発達障害と絵本	比留間敦子氏	49
10 月 9 日	布の絵本の魅力	図書館司書	18
12 月 1 日	*絵本で子育て楽しもう！	ひろかわさえこ氏	32
12 月 8 日	*親子で楽しむ読み聞かせ	児玉ひろ美氏	32

*乳幼児親子向けの講座にボランティアも参加

平成 28 年度

開催日	講座名	講師	人数
4 月 19 日	わらべうたと絵本講座①	平沼美春氏	115
4 月 20 日	わらべうたと絵本講座②	平沼美春氏	
4 月 22 日	わらべうたと絵本講座③	平沼美春氏	
5 月 10 日	わらべうたと絵本講座④	平沼美春氏	
6 月 23 日	絵本で楽しく発達支援	谷地ミヨ子氏	59

平成 29 年度

開催日	講座名	講師	人数
11 月 17 日	冬の絵本を楽しもう！	図書館司書	35

平成 30 年度 *ボランティア講座をボランティア以外にも対象を拡大して実施

開催日	講座名	講師	人数
7 月 13 日	やべみつのりトークショー 「紙芝居と僕」	やべみつのり氏 ゲスト：矢部太郎氏	150

令和元年度

開催日	講座名	講師	人数
6 月 19 日	①学ぼう！乳幼児の絵本	児玉ひろ美氏	42
6 月 28 日	②楽しもう！乳幼児の絵本	図書館司書・「図書館くまぼうさん」	26

*令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

(5) 学校図書館活用事例一覧

＊各校の学校図書館専任司書による主な授業支援例

<小学校>

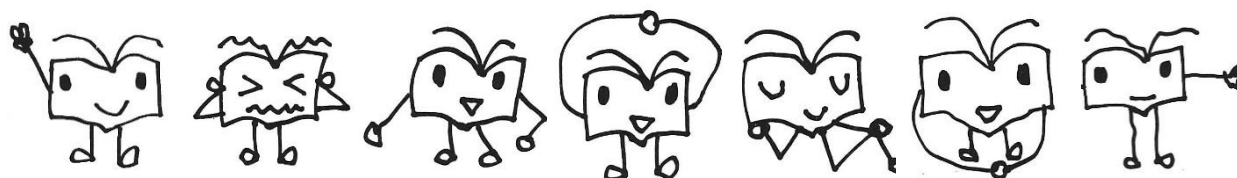
学年	時期	単元／活動名 等	学校図書館専任司書による支援内容
1 年	5 月	図書 アニマシオン	読み聞かせプラスα
	7 月	国語 ほんはともだち	いろいろな本の楽しさを知る
2 年	5 月	国語 いなばの白うさぎ	神話・民話のブックトーク
	6 月	図書 読書月間	『ぐりとぐら』でアニメーション
	6 月	国語 お話クイズをしよう	アニメーション、複本の準備
	10 月	国語 お手紙	ローベルさんとやさしい外国のお話
	11 月	国語 夏休み読書感想文	読書感想文が書きやすい本のリスト作成
	11 月	読書週間 『ニワトリが道にとびだしたら』	アニメーションのすすめ方
3 年	6 月	国語 生きものが出てくるお話	ブックトーク
	6 月	国語 図鑑の使い方	利用指導、ワークシート
	6 月	国語 読書月間	ポプラディアの使い方を学ぶ
	7 月	音楽 ブックトーク	『十五少年漂流記』の本の紹介
	7 月	国語 本を使って調べよう	図書室の工夫を紹介
	9 月	国語 事典の使い方	事典紹介、ポプラディアワーク
	10 月	国語 ありの行列	科学読み物紹介
	10 月	国語 戦争と平和について絵本を読もう	資料の収集
	11 月	国語 読書週間（3 年～6 年）	りんごのブックトーク
4 年	10 月	国語 ウナギのなぞを追って	科学読み物のブックリスト作成
	11 月	国語 ごんぎつね	ストーリーテリングと関連本紹介
	2 月	総合 1/2 成人式において	仕事の本のブックトーク
	3 月	国語 わたしの研究レポート	百科事典・情報カードの使い方、本の探し方
5 年	5 月	国語 主人公は高学年	ブックトーク
	6 月	国語 教科書で紹介されている生き物の本	ブックトーク
	6 月	国語 本は友達/千年の釘にいどむ	図書館の工夫について、ポップづくり
	7 月	国語 お仕事の本	ブックトーク
	11 月	国語 大造じいさんとガン	ストーリーテリングと本の紹介
	1 月	国語 シートン動物記/俳句/伝記	ブックトーク
	2 月	読書週間の図書	ブックトーク「挑戦」ほか
6 年	7 月	国語 本の苦手な男子向けの本	ブックトーク
	7 月	国語 本は友達	出会った本を振り返るブックトーク
	9 月	総合 全生園見学の事前学習	ストーリーテリングと本の紹介
	10 月	国語 やまなし	宮沢賢治の本紹介、クイズ、アニメーション
	11 月	国語 誕生をテーマに	ストーリーテリングと本の紹介
	12 月	担任・児童による給食時間の連続読み聞かせ	本の紹介『なりたて中学生』
	2 月	読書週間の図書	ブックトーク「挑戦」ほか

<小学校続き>

教科外	6月	読書月間のよりどり学校司書メニュー	希望のメニュー（アニメーションなど）
	6月	読書月間 分類別読書ビンゴ	ビンゴカード、特別貸出券プレゼント
	9月	休み時間に図書館に誘うしかけ	C Dプレイヤーで音楽を流す
	12月	机上館内地図	図書室内机上へのカラー版館内地図の設置
	1月	読書ビンゴ（図書委員会と全校で実施）	読書ビンゴの作成、放送でのお知らせ
	1月	いのちとこころ 校内テレビ放送	本の紹介

<中学校>

学年	時期	単元／活動名 等	学校図書館専任司書による支援内容
1年	1月	保健体育 ストレス等調べ学習	百科事典、情報カードの記入指導
	2月	職業調べ	百科事典、情報カード、資料準備
2年	4月	2年生全クラスのオリエンテーション	図書館の使い方、出典の書き方指導
	7月	国語 短歌を味わう	資料・ブックリスト提供
	10月	郷土資料調べ	資料収集・設置、調べのお手伝い
	11月	職場体験事前調べ学習	資料・ワークシート準備、利用指導
	12月	東京校外学習事前調べ学習	資料準備、プリント作成
教科外	4月	図書館オリエンテーション	図書館の使い方、出典記入助言
	5月	出前図書（ミニ移動図書室）	図書委員と本の運び出し
	7月	特別支援学級校外学習事前調べ学習	資料準備、調べ方、出典記入助言
	7月	図書館まつり	委員会指導、ボランティアとの連絡
	7月	新潮文庫一行大賞に応募しよう	応募原稿作成支援
	7月	夏休み職員室出前図書	教職員用図書コーナー設置
	10月	図書委員会 たばこの害調べ	委員会指導、展示コーナー設置
	11月	全国読書週間ポスター展	過去の全国読書ポスター15作品の展示と投票
	11月	ブックトーク「みんないろいろ＝きみはきみだ」	実践
	12月	ブックトーク「考えるって楽しいかも！」	実践
	3月	ビブリオバトル	委員会指導、備品準備、進行



学校図書館キャラクター「ブックン」 各校の学校図書館便りに登場します

イラスト やべみつのり氏

(6) 子ども関連施設への図書特別貸出

*特別貸出は市立図書館から施設・団体等に対して長期間貸出する制度

*下記は依頼内容に沿ったテーマの本をセットして配送したもの

*電話・FAX等で受け付けたもので、来館利用分は含まない

年度	学校		保育園・児童館等	
	件数	冊数	件数	冊数
平成 27	607	16,632	163	5,758
平成 28	584	15,024	162	5,713
平成 29	617	16,751	148	5,452
平成 30	632	16,665	199	6,889
令和元	648	16,566	209	7,389
令和 2	592	15,713	174	6,656

*令和 2 年度は 2 月末日までの実績

(7) 子ども関連施設への図書の寄贈

*施設・団体等に対して市立図書館の再利用図書を寄贈

年度	学校	市立 保育園	私立 保育園等	児童館・児 童クラブ等	その他	合計
平成 27	600	420	600	0	0	1,620
平成 28	1,940	0	0	111	60	2,111
平成 29	797	420	0	8	24	1,249
平成 30	660	0	0	0	266	926
令和元	870	0	0	6	49	925
令和 2	2,057	0	320	0	60	2,437
計	6,924	840	920	125	459	9,268

*その他は、くめがわ電車図書館、ふれあいセンター、白州山の家等

(8) 学校図書館支援（市立図書館から）

＊市立図書館司書と支援担当の学校図書館専任司書（市立図書館に配置）による学校図書館支援

- ① 小学校図書館便りコンテンツ作成
- ② 教科書関連情報提供
- ③ 地域資料の収集と配布
- ④ 職員向け図書館便りコンテンツ作成
- ⑤ 学校図書館支援便り発行（小・中学校教員に配布）
- ⑥ 特別貸出（読書指導・調べ学習用図書、学級文庫用図書等）
- ⑦ 図鑑セット・百科事典セットの貸出とワークシートの提供
- ⑧ 学校図書館への訪問支援

＊支援担当の学校図書館専任司書による訪問支援

年度	月	学校名	支援内容
平成 28	10～11	東村山第三中学校	当該校の学校司書が長期休みのため昼開館支援
平成 28	10～11	東村山第四中学校	当該校の学校司書が長期休みのため昼開館支援
平成 29	5	東村山第二中学校	調べ学習事前準備
平成 29	7	八坂小学校	見出し板更新、本の移動、大規模校の現状把握
平成 30	6	東村山第六中学校	廃棄本の選定、レイアウトの相談
平成 30	6	青葉小学校	ボランティア、レイアウト、廃棄本選定の相談
平成 30	7	東村山第一中学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
平成 30	7	東村山第四中学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
平成 30	9	秋津小学校	ボランティア、廃棄本選定、分類見直しの相談
平成 30	10	久米川小学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
平成 30	11	東村山第五中学校	レイアウト、分類の相談、作業
平成 30	11	野火止小学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
平成 30	11	回田小学校	レイアウト、見出し板更新の相談
平成 30	1	八坂小学校	寄贈本の受け入れ・装備作業
平成 30	2	東村山第三中学校	レイアウト、コーナーづくり、廃棄本選定の相談
令和元	6	東村山第五中学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
令和元	6	北山小学校	レイアウト、廃棄本選定の相談
令和元	8	久米川東小学校	レイアウトの相談、修理、寄贈本の処理
令和元	10	秋津東小学校	蔵書構成、廃棄本選定の相談
令和元	10	東萩山小学校	蔵書構成、廃棄本選定の相談
令和元	10	萩山小学校	蔵書構成、廃棄本選定の相談
令和元	11	大岱小学校	古い本の廃棄作業、見出し板、新聞の活用の相談
令和元	2	東村山第四中学校	蔵書整理、展示架の相談
令和 2	3	東村山第七中学校	レイアウトの相談

(9) 学校図書館支援（教育委員会から）

- ① 『学校図書館の手引き』発行
 - ② 学校図書館図書見本展示会及び購入相談
 - ③ 学校図書館向けリサイクル会
 - ④ 学校図書館担当者連絡会 ＊うち１回は学校図書館専任司書との合同研修
 - ⑤ 学校図書館専任司書研修 ＊うち１回は学校図書館担当者との合同研修
- 合同研修（外部講師による研修のみ記載）

年度	講師名	内 容
平成 27	田揚江里氏（東京学芸大学）	先生と司書の連携による学校図書館の活用
平成 28	赤木かん子氏（児童文学評論家）	子どもの本の現状
平成 29	福岡淳子氏（学校司書）	司書と先生が作る学校図書館
平成 30	堀川照代氏（青山学院女子短期大学）	学校図書館とは（活用法と可能性）
令和元	内田剛氏（三省堂書店）	本の魅力を伝えるPOP作りの極意
令和 2	＊新型コロナのため、合同研修は中止。学校司書研修（講師：宮崎伊豆美氏）実施	

(10) 障がいのあるお子さんへの布の絵本の提供状況

＊布の絵本はもともと障害のある子どものために作られた「絵本」＋「遊具」。ボランティアグループ東村山布の絵本企画室（活動終了）が作製し、現在はボランティアグループ布の絵本サポーターが作製、メンテナンスに協力している

＊布の絵本プレイルームは、布の絵本を展示し、自由に触れて遊べるスペースとして開放する催し。主催：市立図書館 協力：布の絵本サポーター・読み聞かせボランティア「図書館くまぼうさん」。年１回ずつ、ころころの森（図書館ところころの森共催）と秋津公民館（秋津図書館主催）で開催

＊障害児関連施設へも貸出

① 布の絵本プレイルーム開催状況

年度	参加人数
平成 27	18
平成 28	18
平成 29	13
平成 30	13
令和元	8
令和 2	中止

② 障害児関連施設への貸出状況

年度	貸出回数	貸出点数
平成 27	4	30
平成 28	5	29
平成 29	4	24
平成 30	7	72
令和元	3	58
令和 2	5	82

③ 布の絵本サポーター活動状況

年度	活動回数	延べ人数
平成 27	6	32
平成 28	19	97
平成 29	22	99
平成 30	16	80
令和元	3	58
令和 2	0	0

布の絵本サポーターの活動回数・延べ人数は図書館に集まって活動した数。自宅での作製分は含まず。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅での作製のみ。

(11) 図書館関連団体の表彰・受賞実績一覧

*子どもの読書に関わる図書館関連団体の主な表彰・受賞実績をまとめたもの（既に活動を終了した団体は除く）

*長年の活動実績を示すため、第3次計画（平成27年度～令和2年度）以前の表彰・受賞も含む

① 市民表彰（東村山市）

年度	団体名
昭和 63	くめがわ電車図書館
平成 28	紙芝居サークル「原っぱ」
平成 30	くめがわ電車図書館

② 子供の読書活動優秀実践図書館・団体 文部科学大臣表彰（文部科学省）

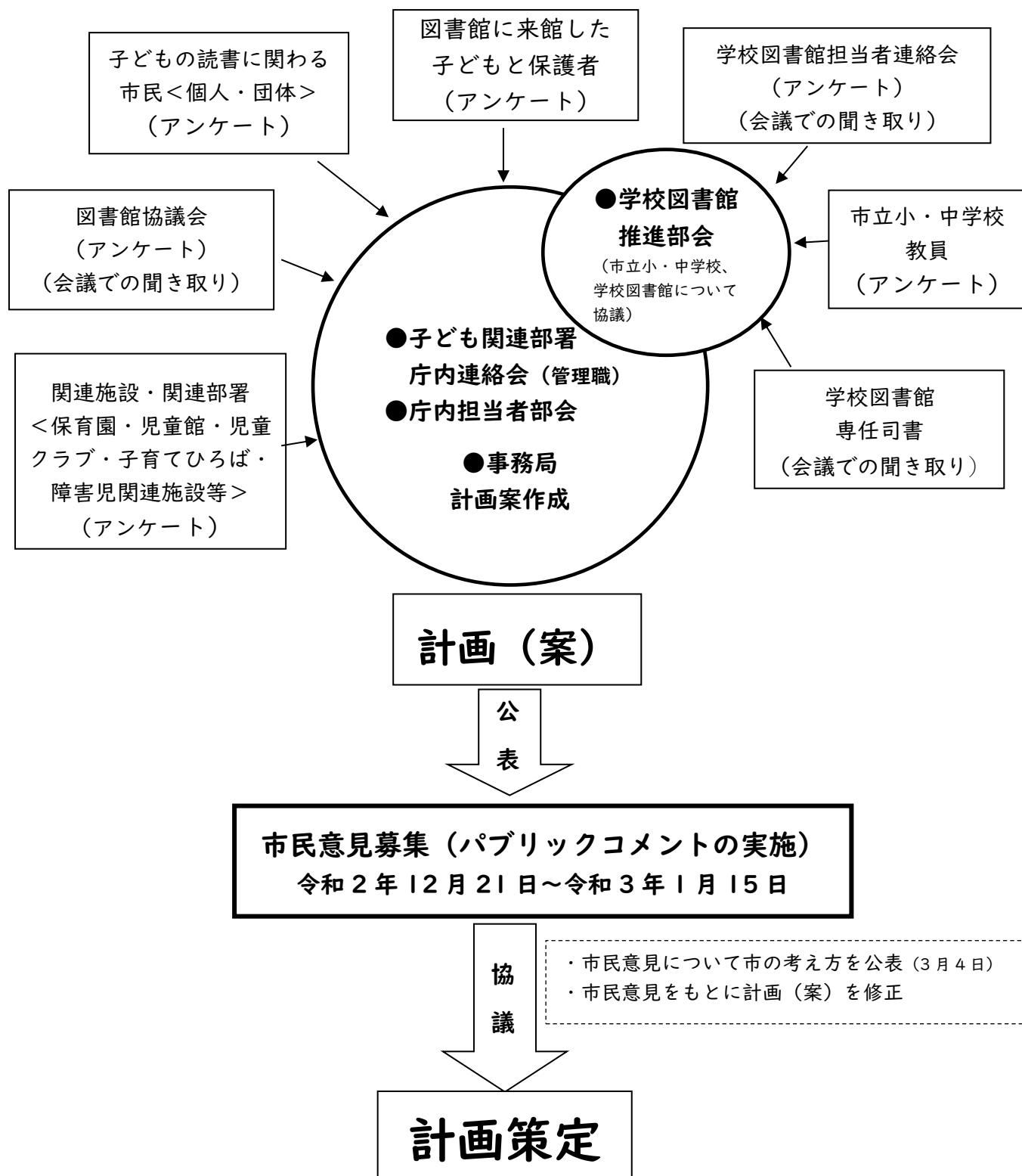
年度	団体名
平成 14	くめがわ電車図書館
平成 18	東村山市立中央図書館
平成 28	紙芝居サークル「原っぱ」
平成 30	東村山うちでのこづち

③ その他

年度	受賞名	団体名
昭和 63	子ども文庫功労賞（伊藤忠財団）	くめがわ電車図書館
平成 13	社会貢献者表彰（社会貢献支援財団）	川島恭子氏（くめがわ電車図書館）
平成 21	第49回久留島武彦文化賞個人賞 （日本青少年文化センター）	加藤武郎氏 （紙芝居サークル「原っぱ」）
平成 27	第1回右手賞・団体賞 （子どもの文化研究所）	紙芝居サークル「原っぱ」
平成 29	学校活動支援団体等に関する東京都教育委員会感謝状	紙芝居サークル「原っぱ」
平成 29	学校活動支援団体等に関する東京都教育委員会感謝状	おはなし宅配便ポポ
平成 29	第3回東村山市子育てにやさしい大賞 （施設部門）	くめがわ電車図書館
平成 30	東京都教職員互助会第15回ふれあい感謝状21	おはなし宅配便ポポ
令和元	第5回右手悟浄・和子賞 （子どもの文化研究所）	加藤武郎氏 （紙芝居サークル「原っぱ」）
令和元	第5回東村山市子育てにやさしい大賞 （子育てにやさしい人部門）	市立図書館「図書館くまぼうさん」
令和2	第6回東村山市子育てにやさしい大賞 （子育てにやさしい人部門）	市立図書館「図書館くまぼうさん」

資料 2 第 4 次計画策定のしくみ

子どもの読書に関わる市民の皆さんや、関連施設及び関連部署に対してアンケートを行い、第 3 次計画の取り組みへの評価と第 4 次計画に向けた意見を聞き取りました。その後、関連部署で協議しながら計画（案）を作成しました。計画（案）は公表し、広く市民の皆さんから意見を募集（パブリックコメント）したのちに、本計画を策定しました。



資料 3 第 4 次計画策定体制

<子ども関連部署庁内連絡会> 事務局：図書館

所 属	氏 名
教育部 部長	田中 宏幸
教育部 次長（生涯学習担当）	山田 裕二
教育部 次長（学校教育担当） 指導室長兼務	井上 貴雅
子ども家庭部 地域子育て課長	榎本 文洋
市民部 市民相談・交流課長	大西 弥生
教育部 図書館長	新倉 敦子

<子ども関連部署庁内担当者部会> 事務局：図書館

所 属	氏 名	備 考
教育部 学務課	仙頭 由美	
教育部 指導室	柿添 剛広	指導主事
教育部 子ども・教育支援課	竹内 美崎	
子ども家庭部 子ども保健・給付課	丸山 遊子	保健師
子ども家庭部 地域子育て課	中丸 孝子	保育士（第三保育園長）
子ども家庭部 児童課	井出 秀子	児童厚生員（富士見児童館）
市民部 市民相談・交流課	今井 菜子	多文化共生相談員
教育部 図書館	野口 淳	司書（館長補佐）
	並木 直江	司書（富士見図書館地区館長）
	小山 美年	司書（中央図書館ティーンズ 担当）
	木村 弘美	司書（中央図書館児童担当）

<学校図書館推進部会> 事務局：図書館

所 属	氏 名
教育部 部長	田中 宏幸
教育部 次長（生涯学習担当）	山田 裕二
教育部 次長（学校教育担当） 指導室長兼務	井上 貴雅
教育部 教育総務課長	仁科 雅晴
教育部 学務課長	進藤 岳史
教育部 子ども・教育支援課長	足立 尚弘
経営政策部 情報政策課長	堀口 裕司
教育部 図書館長	新倉 敦子

資料 4 第 4 次計画アンケートの結果について

(1) アンケートの実施（時期：令和 2 年 7 月～10 月）

種別	対象	回収 部数
市民	図書館来館者（0～18 歳・保護者）	867
	図書館関連団体	11
	図書館くまボラさん（読み聞かせボランティア）	23
学校	市立小・中学校（教員）	378
	市立小・中学校（司書教諭・学校図書館担当教諭）	23
	市立小・中学校（特別支援学級教員）	57
	健全育成学習室（希望学級）	1
	私立中学校・高等学校（司書教諭）	2
	都立高等学校（司書教諭）	2
障害児関連 施設	放課後等デイサービス事業所	5
	児童発達支援	4
庁内関連 施設・部署	児童館	5
	児童クラブ・育成室	29
	市立保育園	5
	子育てひろば	5
	子ども・保健給付課	1
協議会	図書館協議会委員	8

合計 1,426 部

(2) アンケートの結果（概要）＊市民と図書館協議会の分のみ掲載

図書館来館者へのアンケート結果（抜粋）

（対象：0～18 歳・保護者 期間：令和 2 年 8 月 5 日～9 月 6 日 場所：市立図書館全館）

① あなたは

小学生	中学生	高校生等	保護者 （乳幼児）	保護者 （小学生）	保護者 （中学生）	保護者 （高校生等）	未記入	合計
456	91	12	122	157	18	10	1	867

② あなたは本を選ぶとき、どうやって選んでいますか？（いくつでも）

自分でさがす	友だちのおすすめ	家族のおすすめ	学校司書のおすすめ
795	169	183	84
先生のおすすめ	図書館のおすすめ本 コーナーなど	ブックリスト	その他
43	181	361	54

その他の内容（抜粋）	ネット 書店 テレビ 保育園・幼稚園にある本 尊敬する人のすすめ 新聞記事 課題 好きな芸能人のすすめ 好きなジャンル 好きな著者 絵がかわいいもの 学校図書館で人気のシリーズ 子どもが選んだ本
------------	---

③ あなたが読む本は、どうやってゲットしていますか？（いくつでも）

図書館で借りる	学校図書館で借りる	学級文庫から借りる	本屋さんで買う 買ってもらう	その他
750	423	85	558	25
その他の内容 （抜粋）	配本サービス 友だちに借りる 中古 ネット 電子図書 保育園で借りる			

④ 調べ学習について教えてください（いくつでも）

本で調べるのは 好き、楽しい	インターネットで 調べるのは好き	調べるのは 難しい	調べるのは めんどくさい	調べ方が わからない	ちょうどいい本 が見つからない
496	381	130	59	60	71

⑤ 図書館についてどう思いますか？

よい	ふつう	もっとこうしてほしい
761	68	41

よい理由（抜粋）

- ・ いろいろな種類の本があり、たくさん本と出会える
- ・ 無料だから
- ・ いろいろなことが調べられるから
- ・ 静かで落ち着く
- ・ どんな人でも立ち寄れるから

ふつうの理由（抜粋）

- ・ 小さい子のスペースがほしい
- ・ 高校生・大学生が小さい子どもと関われたらいいと思う
- ・ 本のほうがインターネットより情報が正確だが、調べるのに時間がかかる
- ・ 本がいっぱいあって楽しいけれど遊べない

もっとこうしてほしい理由（抜粋）

- ・ 本がたくさんあり見つけるのが大変
- ・ 人気の本・新しい本を置いてほしい
- ・ 施設が古いので新しくしてほしい
- ・ 勉強のスペースを大きく広くしてほしい
- ・ 本での調べ方をもっと教えてほしい

⑥ 読書や図書館について、こうしたい、こうなったらいいなと思うこと、ここが困るということは？（抜粋）

- ・ 建物が新しくきれいになるといい
- ・ 座席数や学習スペースを増やしてほしい
- ・ もっと新しい本を入れてほしい
- ・ けんさく君を増やしてほしい
- ・ 読書通帳があるといい
- ・ 借りられる本が15冊や20冊になるといい
- ・ 漫画を置いてほしい
- ・ 駅に返却ボックスがあるといい

- ・ 自動貸出機があるといい
- ・ 少し緊張する雰囲気があるから明るい雰囲気になるといい
- ・ 職員がそこら中にいて、何でも聞けるといい
- ・ 友だちと楽しく読みたいのに静かにしなきゃいけないから困る
- ・ 本を探しやすくしてほしい

図書館関連団体へのアンケート結果（抜粋）

第3次計画について	評価できること	・ 市民協働のしくみづくり、乳幼児への取り組みは上手く回っている ・ 子育て環境に合わせ、父親参加のイベントや夜の図書館のイベントなど新しい取り組みができた ・ ボランティア団体との長年の連携がボランティアのスキルアップにつながり、表彰される活動がある ・ 障害児も含めた市内全体の子どもたちを対象に多方面からの読書推進のアプローチがあり、ボランティアを上手く活用し、協働という観点からも双方にメリットのある取り組みが一定の効果を上げ継続している ・ 市立図書館によるボランティア活動のバックアップ ・ 多文化共生社会に向けて、図書館としての取り組みがスタートした
	不足していること	・ 学校や保育園・幼稚園へのボランティアとの橋渡し ・ 学校図書館の予算の少なさにびっくりした。いい本をたくさん揃えられないのではないかと心配 ・ 学校図書館専任司書の配置拡大 ・ 学校図書館蔵書管理システム導入や学校図書館専任司書の作業用パソコンの充実 ・ 計画をすすめる上での予算は増えるのか気になる ・ 中学生・高校生への積極的なアプローチがなかった
第4次計画について	どのような取り組みが必要か	・ 乳幼児への取り組みやいのちとこころの授業への支援はすばらしい。市外に誇れるソフトなので、もっと宣伝してもよいと思う ・ 保護者への更なる啓発。大人も本を読まない人が多い。読書のきっかけをつくるような保護者を巻き込んだ全市をあげたキャンペーンを ・ おはなし（語り）と読書をつなげるボランティア養成講座 ・ おはなし（語り）の出前を学校・幼稚園・保育園・子育てグループへ紹介 ・ 中学生・高校生にアピールできるイベントや図書委員会との連携事業 ・ 学校図書館の課題の克服 ・ 各校1名の学校図書館専任司書の配置が子どもと本をつなぐ“生の人間”の役割として大切と思う ・ 学校図書館専任司書を週2日ではなく、できる限り毎日配置してほしい ・ 中学校図書館は昼食後20分くらいしか利用できないのに図書館と言えるのだろうか。下校時まで利用できることが望ましい ・ 不登校になりそうだが、学校に行きたいと思っている生徒のためにも学校図書館専任司書の配置の拡大と開館時間の延長を希望する ・ 外国につながる子どもにも対応した取り組み ・ タブレット端末での読書が障害のあるお子さんの助けになるのではないか ・ 災害や感染症発生時の子どもの読書活動をどのように支え、提供するかを研究 ・ 小学生・中学生は別項目にして別の取り組みが必要と思う

読み聞かせボランティア「図書館くまボラさん」へのアンケート結果（抜粋）

第3次計画について	評価できること	・計画のコンセプト「本と人の輪」が素晴らしい。「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」の実践、積み重ねの成果が見られている ・保育園、おひさま広場、子育てひろば等へのボランティア派遣が定着し、気軽に本の楽しさを知る機会ができています ・市立図書館とボランティアとの多くの協働事業が成果を上げている。おはなし会が子どもと母親だけでなく、父親や祖父母にも広がっていると感じる。母親の孤立を防ぐ一翼を担っている ・市民同士のつながりも充実し、研修によりボランティアのステップアップもすすんでいる ・それぞれの年齢層に考慮した取り組み。図書館単独でなく、たくさんの機関と連携が取られていることで熱意を感じる
	不足していること	・おひさま広場のおはなし会の参加者が少ない。PR方法を再考してほしい ・おはなし会の参加者から「絵本の選び方がわからない」との声をよく聞く。より具体的に工夫してもらえると図書館が今以上に身近になると思う ・学校図書館はまだまだ改善の余地があり、第4次の課題である ・本と出会う場が限られているため、市内関連施設と連携して、本の貸出・返却ができると子どもも大人も利用しやすい ・読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み ・中学生・高校生への取り組みが弱いと感じる
第4次計画について	どのような取り組みが必要か	・コロナ禍での取り組み。オンラインという形でもよいので、子育て中の保護者向けの読み聞かせ講座の開催などすすめてほしい ・図書館利用がしにくい子どもには、視覚にうったえる人形劇、エプロンシアター、手遊び等の体験から興味を持った本へと導きたい ・子育て中の保護者や、中学生・高校生の生の声を聞く機会をつくり、すぐ取り入れられることを一緒に考えていけるとよい ・図書館をすすんで利用し、自ら調べてわからないことを解決していく力が育つよう、小・中学校図書館の一層の充実が急務である ・図書館の取り組みを知らない人へのアピール ・図書館に来たが、子どもにどんな本を選んだらいいかわからない人には、保護者や園の先生、読み聞かせボランティアなどによる本の紹介が貼ってあるとつながりが広がるのではないかと

図書館協議会へのアンケート結果（抜粋）

市立図書館の諮問機関として昭和49年の開館時より設置されている。図書館の運営について協議し、図書館長に意見を伝える。学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者等から構成されている。図書館協議会委員には、アンケートを実施したほか、会議の中で計画案についての意見も伺った。

第3次計画について	評価できること	・市立図書館とボランティアとの多くの協働事業が成果を上げている ・乳幼児や保護者への取り組みが創意工夫もあり、市民の手応えも多く、順調にすすんでいる ・学校図書館専任司書の活動を高く評価したい ・市立図書館の授業への資料提供や学校との連携が行われている ・中央図書館読書室を中学生以上が利用できるようになった ・多磨全生園を念頭に入れた人権やいのちの大切さを伝える取り組みが行われている
	不足していること	・市内外に十分PRができる取り組みをもっと広く強く発信してほしい ・学校図書館専任司書の2校兼務はなんとかならないか ・子ども関連部署庁内連絡会の討議内容が見えず残念

		・資料費が不足している ・小・中学生世代の読書活動は学校内で熱心に取り組まれるようになったが、子どもの読書の全体像や変化の状況がわからない ・中学生・高校生への取り組みを強化してほしい ・図書館利用がしにくい子どもへの取り組みが不足している
第4次計画について	どのような取り組みが必要か	・関連部署と協議内容や成果をオープンにする ・ボランティアへの支援の充実 ・学校図書館専任司書を1校1人で時間数も拡大すべき ・学校図書館蔵書管理システム導入 ・市立図書館の学校支援体制の充実 ・市立図書館、学校図書館、保育園等の蔵書の質と量の充実 ・中学生・高校生世代への取り組みの充実、高校との連携 ・読書活用や図書館利用がしにくい子どもへの取り組み ・外国につながる子どもたちを乳幼児のイベントと結び付けた取り組み ・電子書籍、デジタルツールへの対応

資料5 第4次計画案に対する意見募集(パブリックコメント)の概要について

意見募集(パブリックコメント)の概要

募集期間	令和2年12月21日～令和3年1月15日
応募人数	6名
意見内容	35件

ご意見およびそれに対する市の考え方

市ホームページの「パブリックコメント」に公表



学校図書館キャラクター「ブックン」
©やべみつのり

第４次東村山市子ども読書活動推進計画

令和３年度～７年度
(2021年度～2025年度)

令和３年(2021年)３月

発行 東村山市
編集 東村山市教育委員会教育部図書館 (事務局)

問い合わせ先 東村山市立中央図書館
〒189-8501 東京都東村山市本町1-1-10
TEL: 042-394-2900 FAX: 042-394-4107
Eメール: tosyokan@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp
図書館ホームページアドレス:
<https://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp/>